

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	地域交流センター管理事業	会計	一般会計	事業No.	86	施策順No.	93-004
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-15-10-1		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	男女共同参画課		
施策	93 良質な行政サービスの提供			事業期間	開始	13	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民(利用者)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	飯田市の人口(人) (H21.10.1推計人口)	107259	106630	105691	105036	107000		
	対象をどう変えるか	施設の適切に管理され、安全で快適に利用することができる 市民相互の交流が図られる							
	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	対象をどう変えるか	提言件数(やらまいか提言箱など)	2	6	5	3	3	3	B
		利用者数(会議室)	17971	20027	19200	18000	17499	18000	
22年度の目標達成度に対する振り返り 【政策的事業のみ評価】		会議室の利用件数は増えているが使用者数は減少している							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	飯田市橋南第一地区再開発ビル「トップヒルズ本町ビル」の2階、3階に所在する「飯田市地域交流センター(りんご庁舎)」の施設管理を行う行政窓口機能と地域交流機能を兼ね備えた施設であり、両方の機能がそれぞれ最大限に発揮できるような管理を行う		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<b>【行政窓口機能】</b> 福祉事務所及び男女共同参画課の業務 市民証明コーナー開設(午後7時まで、土曜日は午前10時30分から) <b>【地域交流機能】</b> 午前8時30分から午後10時まで開館(休館日12/31、1/1を除く) 会議室貸出 市民サロン・子どもサロン自由利用 オープンスペース展示貸出	窓口開設日数(平日) 窓口開設日数(土曜) 開館日数 会議室利用件数 会議室利用人数 オープンスペース利用日数	243日 51日 363日 1,426件 17,499人 343日
23年度実施計画	<b>【行政窓口機能】</b> 福祉事務所及び男女共同参画課の業務 市民証明コーナー開設(午後7時まで、土曜日は午前10時30分から) <b>【地域交流機能】</b> 午前8時30分から午後10時まで開館(休館日12/31、1/1を除く) 会議室貸出 市民サロン・子どもサロン自由利用 オープンスペース展示貸出	窓口開設日数(平日) 窓口開設日数(土曜) 開館日数 会議室利用件数 会議室利用人数 オープンスペース利用日数	244日 49日 364日 1,200件 18,000人 300日

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項 22〔特定財源〕(そ)地域交流センター使用料522千円その他645千円 23〔特定財源〕(そ)地域交流センター使用料300千円その他661千円	
		県支出金					
		起債					
		その他	807	1,167	961		
		一般財源	34,629	33,214	34,700		
	計(A)	35,436	34,381	35,661			
	正規職員所要時間		775				
	臨時職員等所要時間						
	人件費計(B)		2,771				
	トータルコスト A+B		37,152				

4 事業に対する市民や議会の意見

【やらまいか提言箱】 ・市民サロンの利用(机椅子が少ない、朝の清掃中に使用できない) ・子供サロン(男性が入室すると女性が授乳できない) 【追手町小児童の提言】	・冬季のサロンの室温を高くしてほしい ・照明を学習するのにふさわしい明るさにしてほしい ・座席を増やして欲しい	・オムツ替えシートを設置してほしい ・庁舎の配置がわかりにくい
---	---	------------------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市役所の行うサービスが的確に提供される。	施策の成果指標又はムツ指標	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	利用者のニーズに応えた管理を行ってきたが建設から10年が経過し多様化するニーズに対応できないなど問題も出てきている		
	後期に向けた課題	維持管理のための経費及び修繕費用が増加する可能性がある		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	電気料や委託料など経費の節減に努めた		
	後期に向けた課題	建設から10年経過し利用者のニーズが当初と違ってきているが、建物の構造上簡単に応える事が難しい		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	電気、水道、消耗品、委託料など細かな積み重ねでコスト削減に努めている		
	後期に向けた課題	庁舎(職員)の収容人員が目一杯となっている現状からコストのこれ以上の削減は難しい		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	会議室利用料については、妥当		
	後期に向けた課題	他の同様施設の利用料と比較して随時見直ししていく必要がある		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	飯田まちづくりカンパニー及び交流センター利用者であり、庁舎管理全般について良好な関係築いてきた。また利用者には、快適に利用できる環境を整えてきた		
	後期に向けた課題	建設から10年を経過し飯田まちづくりカンパニー及びトップヒルズ本町管理組合との費用負担及び大規模修繕が発生した際の費用等		
全体を通じて	4年間の振り返り	利用者が快適に利用できる環境を整えながら徹底した経費の節減に努めた		
	後期に向けた課題	今まで以上の経費についての節減は難しいと思えるが、今後も変化していく利用者ニーズに応じていくことが大切		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------